東京八王子プロバスクラブ
創立 1995 年 10 月 18 日

# プロバスだより
第299号

2020 年 10 月 8 日発行

編集・発行：情報委員会

2020～2021年度 テーマ 「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

## 第 299 回例会

日　時：令和 2 年 9 月 10 日（木） 12:00～14:00
場　所：八王子エルシィ
出席者：48 名、リモート出席者 3 名　出席率 83 ％
（会員総数 58 名、欠席 8 名、休会 2 名）

### 1. 開　会　　齊藤例会委員長

第 299 回例会開催を告げ、配付資料の確認。

### 2. 会長挨拶　　田 中 会 長

皆様、世の中コロナ騒ぎで大変な時、然るべき対策を取った中で、本日はようこそ例会にお集まりいただきました。又、今月もリモートの参加で、永井さん、武田さん、間宮さん、ありがとうございます。今月も申し上げたいことが三点。一つは、このコロナ状況下での集まり方です。例会委員会を中心に知恵を絞って頂いてこのような形になりました。感謝です。二つ目は例会欠席者、特に長期間お休みの方々に対する配慮です。委員会実務活動にも支障を来すという声も上がってきており、喫緊の課題です。三つ目になりましたが、来る 10 月 3 日、我がクラブの 25 周年を記念して催しを計画しており、その内容が固まりました。この後、杉山実行委員長から説明があります。皆様全員のご協力、ご参加をお願いして冒頭の挨拶とします。

### 3. ハッピーコイン披露

河合副会長からハッピーコイン 17 件の披露がありました。（6～7 ページに掲載）

### 4.　バースデーカード贈呈

9 月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードが送られた。

写真 左から吉田会員、馬場会員、野口会員と会長

### 5. 幹事報告　　持田幹事

来る 10 月 3 日（土）に当プロバスクラブ創立 25 周年記念行事として「小・中学校音楽活動優秀校にエールを送る会」を学園都市センターにて開催します。これはもともと「音楽祭」をいちょうホールの予定でしたが、コロナ禍の影響で変更になったものです。若い人たちを応援するためのイベントであり、是非多数の会員の皆さまの参加をお待ちします。

2）先月お願い致しました情報交信アンケート結果を報告致します。56 名中 43 名の回収。
① 年齢や男女の差はほとんどない。② 携帯電話使用は93%、携帯メール可68%、パソコンを見る91%、送受信可 86%、ホームページ閲覧 79%。リモート参加可 44%。今後、HP をさらに活用すべきと思う。
3）コロナ感染が少し落ち着いてきているので、活動自粛が解除されつつあるが、当クラブとしては市の基準、当クラブの申し合わせ基準を順守し安全を守り抜きたい。諸活動が再開されていく中ですが、ご理解願います。

## 6. 委員会活動報告

### (1) 例会委員会　　齋藤委員長

特に報告する事項はありません。

### (2) 情報委員会　　内山委員長

プロバスだより第 298 号をお手許にお配りしました。今号は間宮会員の寄稿文を掲載させていただきましたので、８頁建てとなりました。

ホームページへのアクセス数ですが、8 月は 202 件でした。前月と比べると 60 件ほど減少しております。

毎回お願いしておりますが、例会において発言された方には、発言要旨を委員会にお届けください。

### (3) 会員委員会　　寺山委員長

特に報告する事項はありません。

### (4) 研修委員会　　飯田委員長

１）特別例会について

この度研修委員会では11 月 12 日開催予定の特別例会第 2 報をお届けいたしました。

① 当日のスケジュールと参加の可否、会場までの交通手段について。

② 当日シニアダンディーズの出演が可能かをご検討依頼しました。研修委員会としてはコロナ禍にあって会場側への合唱出演の確認（舞台と観客との距離５m）と実地検証を行っていることを説明した。

③ なおタイムスケジュールは 10 月度には若干の変更があります。

２）卓話について

① 10 月例会は日野プロバスの方（宮地公平さん）に依頼しております。

② 11 月の卓話は特別例会となります。

### (5) 地域奉仕委員会　　馬場委員長

1. 学習サロンの会場変更について

25 周年記念事業の方針に倣って八王子市役所の指針「コロナ下における市民活動のチェックポイント」を遵守するために、急遽会場を「クリエイトホール」に変更することとしました。学習サロンが講演形式となりサロン的運営ができない、並列会場は無くかつ収容定員が最大 80 名というハンディキャップがありますが、今期はこの方向で検討したいと考えています。

2. 学習サロンの日程変更について

「クリエイトホール」の予約は、来年 4 月以降の新年度には優先予約が入ることが予想されます。従って来年 2 月・3 月の空きを抑えるしかなく、会員の皆様には事前了解を得ず下記を予約しました。

2 月 17 日（水）、同 24 日（水）、3 月 5 日（金）、同 12 日（金）、同 19 日（金）、同 26 日（金）の午後です。他に会場運営のリハーサル用に 2 月 16 日（火）午前を予約しました。なお、3 月 21 日（日）予定の“25 周年音楽祭”と近接する課題があります。

従来 120 分枠のカリキュラムが 75 分または 60 分枠に短縮となり、これも検討を要する課題です。

3. 以上 2 項目の事情をご理解頂き事後ですが了解の拍手をお願いします。（拍手多数）

4. 野外サロンについては、コロナ下での実施は無理だと判断しています。

5. 上記制約下での運営については、委員会内で早急に詰めてまいります。

### (6) 交流担当　　一瀬理事

先月ご報告した通り全日本プロバス協議会から総会開催ができないので書面方式でする旨通知があり議案が送られてきました。理事会にて審議の結果基本的には問題ないものの財政の確立、具体的には会費や協賛金など今後どうしていくのか課題もあり、今後の議論も必要ですが現時点では承認いたすことといたしました。田中会長が常任理事（副会長）に選任される見込みでありますので今後情報量が増えてくるものと思われます。その中で全日本との向き合い方、2022 年の八王子での総会開催を見据えての当クラブの体制構築も議論し検討してまいりたいと考えます。

近隣の日野・多摩両クラブも例会など活動を再開したようですし、特別例会・生涯学習サロンなど交流の機会を模索いたします。

**(7)「宇宙の学校」　　下山 PJ リーダー**

特に報告する事項はありません。

**(8) 創立 25 周年記念事業実行委員会報告**

**杉山　友一**

「クラブ創立 25 周年のつどい」10 月 3 日につきましてはお手許に配布されたプログラムの通りであります。どうぞよろしくお願いいたします。今回のプログラムは全体事業の中でのパート 1 でありまして、翌年 3 月 21 日（日）いちょうホール小ホールでの招待 3 校を中心とした演奏発表会を事業のパート 2 として予定しております。コロナ事情の中での計画変更でございます。ご理解ご協力賜りたく、よろしくお願いいたします。

＜昼食・休憩＞

**7. 卓　話**

**全国都市めぐり　　丸山　恭**

**1. 検察庁はどこにあるか。**

最高検察庁は最高裁判所に、高等検察庁は各高等裁判所に、地方検察庁は各地方裁判所にそれぞれ対応して置かれている。最高裁判所は一つしか存在しないから、これに対応する最高検察庁も一つしかありえない。その他の検察庁は、高等裁判所以下の下級裁判所がいずれも複数存在することに伴って、複数存在することになるから、それぞれ名称をつけて識別する必要がある。検察庁法の委任に基づいて、最高検察庁の位置並びに最高検察庁以外の検察庁の名称及び位置を定める政令が定められている。最高検察庁の位置は東京都と定められている。

高等検察庁は、東京高等検察庁をはじめとして、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、高松の 8 庁である。地方検察庁は、東京地方検察庁をはじめとして、各都道府県庁所在地に 1 庁ずつ、及び函館、旭川、釧路の 3 庁、合計 50 庁である。

**2. 検察庁の名称はどのようにつけられているか。**

各検察庁が置かれている都府県庁所在地名が検察庁の名称として付けられている。県庁所在地名と県名とが異なる県の場合は、検察庁の名称が県名と異なることになるが、各地方検察庁の管轄する地域は各都府県の全域である。例えば、横濱地方検察庁の管轄は神奈川県全域となるなど。

北海道は、札幌地方検察庁、函館地方検察庁、旭川地方検察庁、釧路地方検察庁の 4 庁に分かれて管轄している。

さいたま地方検察庁は、かつては所在地が埼玉県浦和市であったので浦和地方検察庁であったが、浦和市が合併によりさいたま市になり、裁判所の名称がさいたま地方裁判所に変わったことに対応して検察庁の名称が変わった。

10 年前まで八王子市明神町に東京地方検察庁八王子支部があった。ところが、最高裁判所が東京地方裁判所八王子支部を立川市に移転し、新たに立川支部として開庁したため、これに対応して検察庁の支部も平成 21 年 4 月に八王子市から立川市に移転し、東京地方検察庁立川支部として業務を開始した。地方検察庁の支部は地方裁判所の支部に対応して設けるものとされているから、裁判所の支部がないのに検察庁の支部だけを設けることはできない。

**3. 最高検察庁の長が検事総長、高等検察庁の長が検事長、地方検察庁の長が検事正である。**

検事正の「正」という文字は、わが国ではもともと「かみ」と訓じ、役所の長官という意味で使われている。「かみ」を意味する文字は役所によって異なり、例えば、宮内省は宮内卿、内匠寮は内匠頭、国は遠江守などがあり、主水司の主水正、織部司の織部正として使われていた。検事正という名は、明治 23 年施行の裁判所構成法から使われているが、役所の長であることを表すのに律令制に由来する正を使った先人の知恵には興味深いものがある。

**4. 奈良市**

奈良市登大路町に奈良地方検察庁が置かれている。最寄りの近鉄奈良駅から約 100m の距離にある。

奈良県は、県面積は上位から 40 番であり、県人口は上位から 29 番である。

奈良市の人口は約 36 万人（人口上位から 28 番）である。なお、天然記念物として保護されている奈良の鹿は現在 1,300 頭である。

奈良市を訪れる場合は、京都から近鉄京都線、奈良

線を利用するのが一番である。平城宮跡、復元された朱雀門や大極殿を車窓から間近に見ることができ、東大寺の大仏殿の建物や若草山を遠望しながら奈良に到着することができる楽しみがある。

明治 23 年 11 月、裁判所構成法が施行され、奈良地方裁判所に検事局が附置せられ、その後、昭和 22 年 5 月検察庁法が施行され、検事局は奈良地方裁判所に対応した奈良地方検察庁とし誕生した。

**5. 唐招提寺（律宗総本山）の御影堂**

唐招提寺の境内に鑑真和上の坐像を安置する御影堂がある。この御影堂の建物は、奈良地方裁判所の庁舎を移し復元したものである。ところで、奈良地方検察庁発足当時まで奈良地方裁判所と共用していた奈良地方裁判所庁舎は、興福寺旧一乗院の建物であった。一乗院はいわゆる門跡寺院で、室町将軍になる前の足利義昭が覚慶という名で門跡を務めていたこともあった。一乗院は大乗院と交代で興福寺の別当職をつとめていた。鳥羽伏見の戦の 3 月後、一乗院と大乗院は連名で復飾（還俗）願を提出し僧侶全員が退去し、興福寺は空き家になった。この旧一乗院の建物は明治 9 年～昭和 37 年まで奈良地方裁判所庁舎として使用されていた。裁判所改築工事のため撤去されることとなったが、土塀に囲まれた宮殿風の荘重な由緒ある建物であったことから、残したいとの声が強かったため、奈良県が国から譲り受け、これを唐招提寺が建物の譲渡を受けることを条件に敷地を提供し、昭和 39 年に同寺境内へ移され復元された。

唐招提寺の御影堂として、鑑真和上の坐像が安置されており、東山魁夷画伯の揮毫奉納された障壁画が収められている。なお、明治以来裁判所庁舎に同居していたが、検察庁法施行により間借りの立場に変わり、ようやく昭和 24 年裁判所裏通りの旧一乗院の別院であった建物と敷地を買取り、庁舎に改造し、独立庁舎に移って奈良地方検察庁の業務を開始した。

**6. 薬師寺（法相宗大本山）の東塔**

耐震化などを目的に平成 21 年 7 月から解体大修理を始めた薬師寺の東塔は、令和 2 年春に約 10 年にわたる修理を終えた。令和 2 年 4 月 26 日に国宝東塔大修理落慶法要が企画され、これに参加することを予定していたところ、新型コロナの影響により延期となった。残念なことであった。

薬師寺は般若心経の百万巻写経という写経勧進の力により、金堂（昭和 51 年）、西塔(昭和 56 年)、中門、廻廊、大講堂（平成 15 年)、食堂（平成 29 年）が復興され、玄奘三蔵院伽藍は平山郁夫画伯の 49mに及ぶ大壁画が納められており、壁画委員会が組織され壁画の管理に万全を期している。

壁画委員会の委員をしていたころ、管主をはじめ僧侶の方々のいろいろなお話をうかがう機会があった。小僧に来た頃は、大伽藍は失われ貧しい寺になっていて、国宝の東塔と雨漏りのする仮金堂の中に国宝薬師三尊が、国宝の東院堂には聖観音像が安置されていたとのことでした。東塔は六重に見えるが下から一、三、五番目の屋根が裳階で、内部は三層が重なった高さ 34mの三重塔である。貧しい寺であったころ、東塔周辺の境内は、小僧さんたちが遊び場としていた。この東塔の前の空き地でソフトボールをすることがあって、東塔の２階に当ったら二塁打、三階に当ったら三塁打というようなルールを決めていたという大変楽しいお話もあった。

薬師寺の僧侶の方々は大変お話が上手なので、国宝の建物を目がけてソフトボールを打ち込むという恐れ多いことを本当にしたのかどうかは今となってはよく分からない。

**7. 東大寺(華厳宗大本山)の二月堂**

東大寺の西大門跡近くに住んでいたので、毎朝、二月堂に行きお参りをし、回廊から奈良市街、平城宮跡、大阪府との境にある生駒山、信貴山等の景色を眺めることを日課としていた。

夕日の景色の素晴らしさが評判ですが、夕日より朝日が絶景であると思う。境内を散歩中、犬を連れて散歩をしている東大寺の別当さんに出会うことがあり、立ち話をすることもあった。東大寺の境内を散歩していると、バシッ、バシッという大きな音が聞えることがある。何事かと

見ると、鹿が芝生や下草を食べていた。鹿に食べられないようにするため多くの樹木は金網を巻きつけたり周囲を柵で囲ったりして保護してある。ただ、あせびには特段の保護措置はとられていない。馬や牛があせびの葉を食べると麻痺することから、「あししびれ」と呼ばれ、それが「あせび」に転訛したと言われる。鹿もあせびの葉を食べないので、奈良公園などに広く繁茂している。あせびは、奈良県の木、県の花の選定候補になるなど県民に親しまれている。職場の親睦会の名称はあせび会であった。あせびの森、ホテル馬酔木、焼肉あせびなどもある。なお、奈良県及び奈良市の花は、奈良の八重桜が選定されている。

二月堂修二会は 3 月 1 日から 14 日までの 14 日間行なわれる。冬の間ひっそりと静まりかえることの多かった二月堂周辺の寺域は、3 月に入るとにわかに活気づく。毎夜七時になると、つぎつぎと点火された大松明が、登廊を経て二月堂の欄干上に姿を現す。二月堂下の善男善女は火の玉となった松明を見て息をのみ、燃え上がる炎、飛び散る火の粉の美しさに、暫し我を忘れて喚声を上げる。お水取りの名で親しまれている二月堂修二会の夜の法会の始まりである。

松明は練行衆を先導する道明かりである。練行衆が夜七時に上堂するときに、童子と呼ばれる役名の人が大松明を先立てて登廊をゆっくりとそれぞれが担当する練行衆を先導して上り、練行衆が二月堂に入るのを見送り、その後、松明は回廊を巡って、西北の角と南西の角で欄干から突き出され、ごろごろと回転させ、一般の人々に炎の乱舞を披露するものである。二月堂の下に集った一般の人々の喚声があがると、童子も張り切り力が入るのである。別当さんは、童子の方たちに回廊を走らないように注意しているが、童子が張り切って走ってしまうとこぼしていた。

二月堂に参籠する練行衆は11名と定められている。東大寺の僧はもとより、華厳宗の寺の僧侶にその資格がある。上席の四名を四職（役職者）といい、それ以外の七名を平衆（諸役担当者）という。二月堂内陣において、練行衆は世の人々に代わって、観音菩薩にその罪の許しを乞い、除災招福を祈り、一日六回本尊の十一面観音への礼拝と仏を讃える言葉を繰り返す声明を唱えることを行なっている。練行衆は法会を支える随伴諸役と寝食を共にし、二月堂の参籠宿所で共同生活を送る。

修二会内陣参拝の許可を得られたので、14 日間連続して夜七時過ぎから十二時頃まで内陣参拝をし、1,250 年を超える伝統行事に間近に触れることができた。

二月堂内は菜種油を燃やして明かりをとっており、その煤で鼻の中が真っ黒になるほどであった。

神名帳が読み上げられる。日本全国の神々を法会の場に勧請してその加護を祈ることが行なわれた。

加供帳が読み上げられる。国政に携わる人や奉加金品の献納者などの繁栄や成道を祈ることが行なわれ、初めに時の内閣総理大臣の名が出て来て、「御加供勤仕せしめたまう所也、天下泰平に保たしたまえ」などと読み上げられた。詳しい内容までは聞き取れなかった。

火の行法「だったん」が行なわれる。練行衆が火のついた松明を飛び上がりながら打ち振り天井を焦がさんばかりの炎に内陣が包まれるという目を疑うような光景が繰り広げられる。江戸時代にはこの火で二月堂が燃えてしまったことがある。3 月 12 日の夜半過ぎ、練行衆が堂下にある若狭井の香水を汲んで観音菩薩にお供えするためのお水取りがあり、修二会全体を表す俗称ともなっているが、修二会の一部行事である。二月堂内から外に出るので大変寒い。堂下に芭蕉の句碑「水取りや籠りの僧の沓之音」がある。野ざらし紀行には「水とりや氷の僧の沓のおと」と載っている。

**8. 興福寺（法相宗大本山）**

奈良地方検察庁、奈良地方裁判所は、すべて興福寺の旧境内にある。平成 30 年には中金堂が再建された。阿修羅像の力が大きかったのではないかと思われる。今後、南大門等も復元される予定である。興福寺のご縁としては、節分にお役目を頂戴し、東金堂の廊下から貫首さんと共に豆まきをする貴重な経験をした。旧一乗院は、かつての景観は全く残っていないが、旧大乗院は、その御殿山に奈良ホテルがあり、旧大乗院庭園が復元され公開されている。なお、唐招提寺、薬師寺、東大寺、興福寺は葬式など行なわず、墓もない。

**9. 国見の名所**

高取城趾は明日香村の南、高取町にある。「巽高取雪かと見れば雪でござらぬ土佐の城」という歌が江戸期に歌われた。東南の高取山の山頂から山腹に白いものが見える、雪かと思ったら高取城の白壁だっ

た。土佐は高取の城下町の名である。国見櫓跡からの見晴らしが大変素晴らしい。大和三山、飛鳥、奈良盆地はもとより遠くは京都まで遠望可能である。藩主植村家の子孫が高取町長をしており、殿と呼ばれていた。

その他、眺望の良いところは、若草山山頂、二月堂回廊、多聞山城址、奈良県庁屋上などがある。

**8. その他**　　特になし。

**9. プロバス賛歌**　　演奏のみ。

**10. 閉　会**　　**河合副会長**

例会お疲れ様でした。また、リモート参加のお三方もありがとうございました。

例会の最後に起立してプロバス賛歌を黙唱しました。気持ちが引き締まって、また来月へという励みになりました。

丸山会員による卓話は「全国都市めぐり」のうち、奈良を中心にお話がありました。特に東大寺二月堂の御水取りの裏話は、大変興味深く面白く聞かせて頂きました。ありがとうございました。

来月は例会の前に、ご案内のように 10 月 3 日に、25 周年行事の一つであります「エールを送る会」が開催されます。皆様の元気な参加をお願いして、本日の例会を閉会とします。

## ハッピーコイン

◆10 月 3 日の「エールを送る会」開催に向けて諸準備を進めています。当日のお手伝いを御願いした方々よろしくお願いいたします。多数の方の出席で 25 周年を祝いたいと思います。　一瀬　明

◆クラブ創立 25 周年の記念品の P-tie が出来上がりました。来る 10 月 3 日にお渡しいたします。ご来場の上お受け取り下さい。　一瀬　明

◆10 月 3 日のエールを送る会みんなで協力してすばらしい会にしましょう。　飯田 冨美子

◆サッカーJ2・4 位にいるヴァンフォーレ甲府を応援しています。熱烈ファンです。上位チームに 3-0。2-0 で勝ち、J1 復帰を期待しています。ハッピーです。　飯田 冨美子

◆今月無事、今年も誕生日を迎えられそうです。来年も誕生日迎えられるようがんばるぞ！！　野口　浩平

◆室町時代に建てられた臨済宗南禅寺派の寺院広園寺までの往復 1 時間の早朝ウォーキングと夕時のプロ野球テレビ観戦は、コロナ禍にあってのささやかな楽しみであります。　岩島　寛

◆コロナ下の例会が、このまま続けられることを願って！　馬場　征彦

◆毎日、夕方ウォーキングをしていますが、蝉の声が秋の虫の声に変わりました。コロナ、異常気象などイロイロありますが、季節の移ろいにホットとして Happy です。　持田　律三

◆屋内のイベント開催制限が緩和されたとしてもコロナウイルスに対する恐怖は消えない。どう対処するか悩みは尽きない。　内山　雅之

◆皆さま 10 月 3 日（土）開催の創立 25 周年記念事業のつどいには万障お繰り合わせの上御出席をお願いいたします。　杉山　友一

◆秋といえば月がきれいに見える季節。今月は 10 月 1 日が中秋の名月。美しいのは、秋は空気中の水蒸気量が少ないため月の輪郭が水蒸気でぼやけることなくくっきり見えるからです。満月に Happy。　荻島　靖久

◆孫息子に息子が産まれました。ヒイバアチャンになりました。バンザーイ！！　立川 冨美代

◆今日は終戦の年になくなった母の 75 回の命日です。33 歳でした。節目の法要に西下出来ず遠くから合掌です。　立川 冨美代

◆会員の皆様とお目にかかって Happy。　下山　邦夫

◆この時期、皆様ようこそ集って頂きました。お互い何とかこの苦難を乗り越えられますように、心を込めて。　田中　信昭

◆“プロバス仲間の笑い声に空気が和む”
コロナ禍なのに、猛暑の日々なのに、業者が 2 週間

も入る。ベランダの張替え、玄関ポーチの張替え、倉庫の改装。もう何も手をつけずこのままで良いのに。お前がひとりになって困らないようにと夫は言う。やさしい言葉はやさしく響く！！　　宮城　安子

◆プロバスの例会に出席できることが健康の証。誰もが安心して例会に参加できる日の来ることを切に願って。　　河合　和郎

## 寄　稿

### 新しい葬式のはなし　　岡部　洽

縁起の良くない話で恐縮ですが、「水葬」ってご存知でしょうか？

目下、新型コロナウイルスの話で明け暮れていますよね！トップコメディアンの志村けんさんが亡くなったことで、度肝を抜かれ、関心が高まるというスタートでしたが、志村けんさんが亡くなられた際に、最後のお別れも許されず、火葬された遺骨の形で遺族のもとへ返されたということで、またまたびっくりしたものです。

それくらい感染症は恐ろしいということですが、火葬はウイルスを殺すのに有効なのですね。土葬は当然ダメだと言うことですね。

ところで、土葬・火葬の他にアメリカで第 3 の遺体処理として「水葬」が既に 15 の州で合法化され，昨年 10 月にカリフォルニア州が 15 番目の合法化を決めたそうです。

「水葬」とは遺体や遺骨を海や川に流したり沈めたりする「あの水葬」ではなくて、遺体をアルカリ加水分解で液化処理するというものです。

水葬だと二酸化炭素の排出量が火葬の場合の 10 分の 1 になるので、環境にも優しいとか、費用が半分になるとか言われ、火葬より残酷でないという受け止め方もあり、若い人に受け入れられているらしいです。

すでに、水葬用の装置もいろいろ考案・実用化され、3 時間くらいで処理できるものから、16 時間くらいかかるものがあり、短時間のものほど費用が高いそうです。

遺体は筋肉・内蔵・血管などは液体化し、骨は残って最後に粉末にされるそうです。遺族には粉末状で渡されるみたいですが、あとの残りはどうなるのですかね？ 野菜の栽培用の肥料にするという考えもあるらしいですが、そんな風に栽培された野菜を食べるのは、如何なものかと思いますが・・ 。なお、水葬は感染症対策としては有効みたいです。

やがて日本もそうなるかも知れません。「火葬か水葬か生前に決めておいてくれ」って子供に言われたらどうしましょうか。

### 幸せのホルモン　　久野　久夫

ホルモンと云ってもホルモン焼（内臓肉を焼く料理）ではなく、ましてや怪しげなそれではありません。人間の体内の分泌腺で生成され、血液中に分泌されて運ばれ、特定の器官にのみ作用する微量の化学物質のことです。

その数あるホルモンの中でも、ドーパミンとかセロトニン、オキシトシンというホルモンはストレスを解消し、感染症を予防し、痛みを和らげ活力を増幅し、健康や若さを保つ効果があるそうです。そして、このホルモンは感動し、喜び、大いに笑い極力身体を動かすなどにより活性化されます。美味しいものを食べたり、良い景色を見たり綺麗な花を眺めたり、可愛い動物の世話をしたりなど。あるいは他（者）を思いやり親切にすると幸せホルモンが分泌されて心が安定し、健康を守ってくれるということです。幸せホルモンは出し過ぎて枯渇する心配は無いようです。

当クラブのメンバー諸氏には従来にも増して、この幸せホルモンを出していただき、家族・友人・知人は勿論のこと広く社会の皆様にこの幸せホルモンのご利益を広げていただければ幸いです。

### 茶箱を作る楽しみと陶芸の苦しみ　　内山雅之

茶箱は、持ち運ぶことの出来る小さな箱や籠に茶を点てるための道具をひと揃い仕組んだものです。

茶箱を用いた点茶法を茶箱点と言います。

茶箱に仕込む茶道具は通常のものより、小振りの物を選ぶ必要があります。茶箱には利休型茶箱を除

いては大きさが様々です。

茶碗は茶箱から取り出しやすい小振りの茶碗。茶器は茶碗の中に仕込みますので、平棗か細身の棗。茶杓は、通常の大きさでも茶箱に収まればそれでもよいのです。

この外に茶箱独特の道具として、「茶巾筒」・「茶筅筒」があります。

茶巾筒とは茶碗を清めるときに使う茶巾を四つに折って入れる物です。

茶筅筒は茶筅の穂先が痛まないようにするための入れ物です。通常使われる茶筅より小さめの茶筅を差し込みます。

振り出しは、金平糖や小粒の菓子を入れますので、小さな口をもったものが必要となります。

利休型茶箱がありますが、茶箱を使用する頻度がそれほど多くありませんので、箱や籠などを利用して作成しても構いません。

東南アジアで購入したという蔓で編んだ箱を茶道の師匠から頂いたので、これに工夫を凝らして茶箱の代わりにしようと思い立ちました。

最初に、茶道具を傷つけないよう箱に内張をしました。ところが、困ったことが三つありました。

茶筅を入れる「茶筅筒」、茶巾を仕込む「茶巾筒」、もう一つは菓子を入れる「振り出し」と言われるものです。通常の点前では使わないものです。

茶道具店に行けば揃えることは出来ますが、自分で作ろうと思いました。

自宅近くに陶芸教室があり、そこの先生の指導を受け、茶箱用に使う「茶筅筒」、「茶巾筒」、「振り出し」の三つを製作することに挑戦しました。何回か失敗を重ねましたが、何とか格好だけはつけることが出来ました。

左から振り出し、茶巾筒、茶筅筒

陶芸には難しいところが多々あることを感じました。

（編集者のつぶやき）

## 俳句同好会便り

### 私の一句〈九月の句会から〉

河合　和郎

収束が見えないコロナ禍。先行きが見えなくなってきた家籠り。いつ戻るのか平穏な日々。先ずは身を守る健康管理を。そして趣味も忘れず。

**底翳癒え視界新たや天高し　　東山　榮**

底翳は眼病のこと。白内障の手術で視界は眩しいほどに回復する。中七の措辞がいい。喜びの一句。

**旬を焼く煙も立たず秋刀魚の値　　矢島　一雄**

今年は秋刀魚が大不漁。庶民の手が届かない高値に「旬を焼く煙が立たない」とは言い得て妙。巧い。

**ゆるやかな暮しに馴れて秋彼岸　　池田ときえ**

深い追憶と万感の想いが込められた一句。時の流れが心を癒してくれる。そんな句意が切ない。

**文字持たぬインカの都霧の中　　田中　信昭**

文字を持たないアステカ文明。その栄枯盛衰を語るのは遺跡のみ。壮大な歴史絵巻を一句にまとめた。

**酔芙蓉今日を限りの艶やかさ　　下山　邦夫**

酔芙蓉は一日花。朝に白い花を開き夕には朱を深めて萎む。その艶やかなるが故の儚さを詠んだ。

**短くも命燃やした蝉が落つ　　間宮　敏明**

蝉は多くを地中で過ごし、地上に出て眩いほどの光の中で命を燃やし尽くす。華麗な終焉を一句に。

**百年の商家閉じるや九月尽　　飯田冨美子**

作者の実家が百年の家業を閉めるとか。時の流れとは言え一抹の寂しさが。「九月尽」が全てを語る。

**花火なき空を癒すや火球飛ぶ　　馬場　征彦**

今年はコロナの影響で花火も祭りも中止に。それに代わるように火球が飛ぶ。天の配剤の妙か。

**行く夏を惜しみつ子らの川遊び　　野口　浩平**

コロナ禍により夏休みは短縮。短い夏を無心に遊ぶ子供たちへの作者の視線が優しく温かい。

**忘れたき事ごともあり花野ゆく　　河合　和郎**

人生には色々な事がある。嬉しいことも悲しいことも。そしてまた忘れてしまいたい事などなど。

編集後記　二件の投稿記事を掲載しましたので、前回同様の頁数となりました。

情報委員会　内山雅之